

23 歳 男性

H27.10.2～H27.12.19 入院

最重症アトピー性皮膚炎だが脱ステロイド達成

母親は軽症アトピー性皮膚炎。本人は小学3年の頃から四肢屈曲部にアトピー性皮膚炎が生じた。

中学以降、全身性に拡大し、近医にて入院治療後ステロイド外用治療を定期的に行っていた。

H27.春就職したが、多忙と発汗によりアトピー性皮膚炎が悪化。抗アレルギー剤内服、外用ステロイド強化を試みるも改善なし。

病院を変え、脱ステロイドを試みるもリバウンドが強く、就労・日常生活も困難となった。

知人から当院のホームページを紹介され受診、入院治療を行った。バチルス入浴を中心に非ステロイド非プロトピック療法を行った。

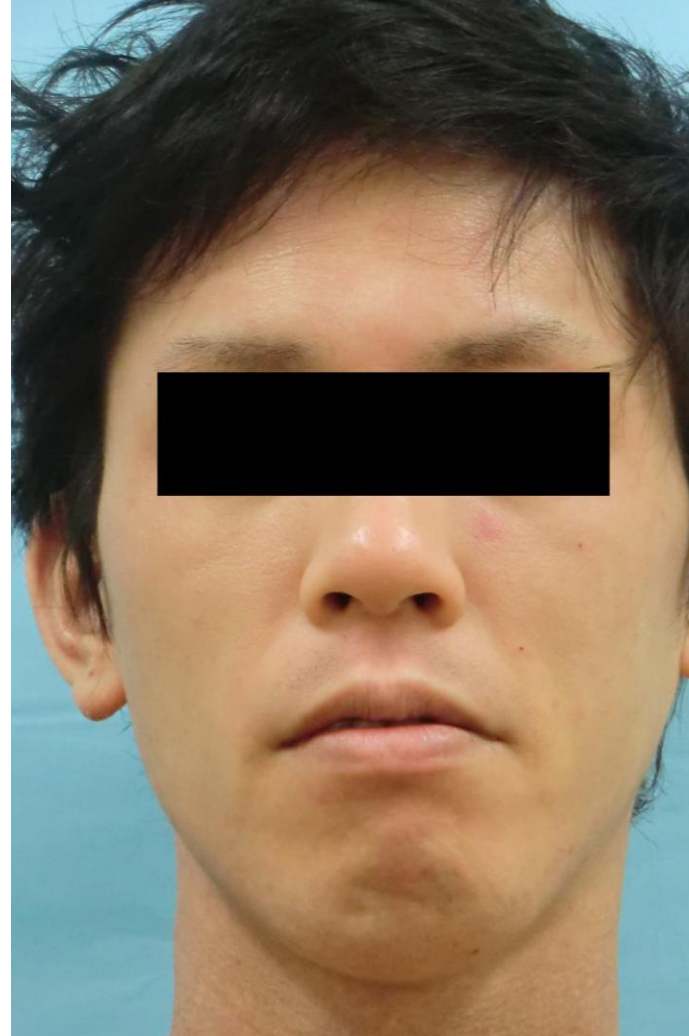
口周りから頸部のヘルペス感染（カポジ）と、顔面頸部に多量の滲出液を伴う強い皮膚炎があり、全身の湿疹・発赤・強い痒みが見られた。

体動時の皮膚のヒキツレによる痛みは1ヶ月近く続いた。しかし、2ヵ月後には皮膚炎の指標である TARC は 27902→568 と一気に約 1/50 の値までに下がり、それに伴い皮膚もみるみるうちに正常皮膚へと近づいて行った。退院時にはまるで2ヵ月半前が信じられないくらいきれいな皮膚となり、退院後は自宅にてバチルス入浴療法を継続している。

	基準値	2015/10/3	2015/11/2	2015/12/2	2015/12/16
TARC	450 以下	27902	20607	568	590
LDH	120～245	505	329	215	224
IgE	170 以下	20474	19104	15348	13547
好酸球	7%以下	3%	14.2%	8.9%	8.4%
POEM(自覚症) (0～28)	最重症者(20～28)	28	15	10	5



2015.10.2



2015.12.19



2015.10.2



2015.12.19